



あべきみこ活動 REPORT

あべきみこ事務所

〒131-0043
墨田区立花4-1-8
TEL 03-3610-0777
★URL: <http://www.abekimi.info>
★e-mail: abekimi@abekimi.info



《2014年 活動報告秋号》

墨田区議会議員あべきみこ
民主クラブ 広報・宣伝紙
東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6197 (直通)

Action.1 第3回定例会



平成26年度第3回定例会が9月10日から9月30日までの21日間開催されました。9月12日に行われた一般質問で山崎区長に対し妊婦検診の公費負担についてと出産直後の母子の心身のサポート体制の充実について、横山教育長にディスレクシアの児童に対する対応について質問いたしました。

《あべきみこ質問》

妊婦検診の公費負担について

- ①妊婦健康診査の検査費用は公費負担されているが、2回目以降の検査対象となっているC型肝炎とHTLV-1抗体検査を1回目の血液検査の際に行っているケースが多く、その結果、自己負担が大きくなっている。1回目の検査でも公費負担の対象となるよう都内の自治体に呼びかけてほしい。
- ②国が例示する標準的な検査項目を全て実施するとともに、HIV検査や超音波検診を4回までは公費負担するよう東京都に働きかけてほしい。

出産直後の母子への支援について

核家族化が進み、出産後家族の援助が受けられない方も増えている。産後の回復や心身のケアを早い時期から受けることで育児不安の解消、児童虐待の未然防止につながっていくと思う。母子の心身をサポートする「産後ケア」の取り組みを強化するべき。

ディスレクシア（学習障害の中で特に「読み書き」などの言語に困難を伴うもの）児童への対応について

- ①ディスレクシアへの対応として、小学校に**多層指導モデルMIM**（文字や語句を正しく読んだり書いたり、なめらかに読んだりできることを目指す学習教材）を導入すべきではないか。
- ②マルチメディアデイジー図書のディスレクシアへの活用について教育委員会の考えを伺う。

《区長答弁》

- ①平成20年に都が「妊婦健康診査の公費負担のあり方に関する検討会」を設置し、検査項目等を決定した。実態として自己負担が大きくなっているのであれば、都のあり方検討会で検討するよう働きかけていきたい。
- ②国の基準案で示された内容を受け、東京都・区市町村・東京都医師会によるいわゆる五者協で適切な協議が行われるよう検討事項の対象として要望した。区としても適切な対応に努めたい。

乳幼児期に子育てが楽しめる環境づくりは非常に重要であると考えている。他自治体の産後ケアの事例等の調査を踏まえ、結婚から妊娠、出産、育児と、切れ目のない支援を強化していきたい。

《教育長答弁》

ことばの教室では、すでにMIMの実践が行われているが、通常学級への活用も含め、今後、各学校のディスレクシアに関する状況把握に努めるとともに、MIMを導入した学習支援について取り組んでいきたい。マルチメディアデイジー図書は、国際的に普及している電子図書であるが、文字の大きさ・色・音声のスピードなどが変更できるため、読み書きに障害のあるディスレクシアの方や、高齢者や弱視の方など、幅広く読書を楽しむことができる優れた電子図書である。今後も、区立図書館を中心にデイジー図書の普及啓発に努めるとともに、各学校においても導入するタブレット端末を活用するなどして、デイジー図書の活用方法等について研究していきたい。

あべきみこ区政報告会を開催



平成26年7月5日に『あべきみこ区政報告会』を曳舟文化センターで開催いたしました。地域、支援団体の皆様に参加いただき、後援会のスタッフの方を含め150名以上の参加をいただき、また山崎区長をはじめ同じNTT出身の石橋参議院議員が来賓として、本目さよ台東区議会議員と鈴木あやこ江東区議会議員もスタッフとして司会のお手伝いをいただき、盛大に開催することができました。

山崎区長からは、区政についてと私の活動状況、女性の視点をこれからも区政の中で発揮するよう期待の挨拶を頂き、石橋参議院議員からは国政について特に労働者派遣法の改正についてのお話をいただきました。

報告会のあとは懇親会にうつり、参加者の皆様から貴重なご意見・ご要望を承りました。



ただ今、あべきみこの応援団「墨田げんき応援団」への参加者を大募集しています。「あべきみこ」と一緒に『元気なすみだ』をつくりましょう。

★問い合わせ先★

〒131-0043東京都墨田区立花4-1-8

TEL : 03-3610-0777 fax : 3610-0770

mail : abekimi@abekimi.info

